

社会に浸透する 情報技術

情報技術が広く社会に浸透し、社会が情報を中心に動き始めています。情報は発信の容易性、コピーの容易性による共有と蓄積が特徴で、この結果、ネットワークを介したコミュニケーションが発展し、個人適応サービスの可能性などが議論されています。情報技術を利用した社会はどうあるべきかを考えるにあたり、京都大学で行われている「情報」に関する多様な研究の一端を、それぞれの専門分野において情報関連の技術を利用して研究を進めている研究者がお話しし、皆さんと一緒に情報社会の未来像について考えていきたいと思います。

主催：京都大学 講演時間：各回18時30分～20時

参加費無料

第1回

オープンエデュケーションの世界 —21世紀の「知の革命」と教育の未来—

9月18日[木]

飯吉 透

高等教育研究開発推進センター
センター長・教授



情報技術によってもたらされたオープンエデュケーションは、「いつでも、どこでも、誰でも」様々な世界最先端の知に触れることを可能にする21世紀の「知の革命」です。これからの社会における「学びと教え」の意義や教育の未来について考えてみたいと思います。

第2回

ゲノム情報のコンピュータ解析 —高校数学+ α による先端的解析手法—

9月22日[月]

阿久津 達也

化学研究所附属
バイオインフォマティクスセンター
センター長・教授



人間の設計図は三十数億文字程度のDNA配列に書かれています。この設計図の解読のためには生物学実験に加えてコンピュータによる情報解析が必要です。本講演では、その情報解析手法の一端を紹介いたします。

第3回

安全・安心な社会の構築 —情報技術を活用したこれからの 社会基盤整備と維持管理—

10月1日[水]

杉浦 邦征

工学研究科
教授



国土・都市など様々なスケールでの社会基盤施設の計画、建設、供用、維持、修理、撤去、再構築などの技術開発を支えてきた情報技術とは？ 今後、安全・安心な社会構築においてどのような技術的革新が求められているのかを考えてみます。

第4回

情報技術の社会への展開 —ビッグデータの検索と分析—

10月6日[月]

田中 克己

情報学研究科
教授



社会の種々の課題を解決するためにビッグデータ分析を行う情報技術に注目が集まっています。本講演では、ビッグデータを検索・分析するための諸技術について、また、高品質な集合知を産み出すのに必要となる情報の信頼性分析技術についてお話しします。

[開催場所・問い合わせ先]

京都大学 東京オフィス

東京都港区港南2-15-1
品川インターシティA棟27階

[TEL] 03-5479-2220 [FAX] 03-5479-2221

[E-mail] t-office@www.adm.kyoto-u.ac.jp

[URL] <http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/tokyo-office/>



京都大学東京オフィスのホームページから申込用紙をダウンロードし、FAXまたはメールでお申し込み下さい。各回定員100名、締め切りは9月9日(火)です。全4回のシリーズですが、1回のみお申し込みいただくことも可能です。なお、定員を超えるお申し込みをいただいた場合は、抽選とさせていただきます。